

2019 年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 CIRCLE

事業内容

《特定非営利活動に関わる事業内容》

横浜市補助事業

《親と子のつどいの広場 ままのわ 運営》

支出額： 4,882,849 円（2019年4月～12月）

従事者： 15名（運営スタッフ5名、ボランティアスタッフ13名）

内 容：

① 親子の交流・集いの場の提供

住所：横浜市金沢区釜利谷東 1-19-43-101

月～金の週5日9時半～15時半（土日祝と月1日定休）

開催日数 175日／9か月間（2019年4月～12月）

利用者数 延べ1,980名 917組

広場 利用 実績		4月	5月	6月	4～6月 合計	7月	8月	9月	7～9月 合計	
	開催日数	19	18	20	57	23	17	18	58	
	利用者数	175	151	242	568	262	167	213	642	
	利用組数	78	66	111	255	116	74	101	291	
	一日あたりの 平均利用者数	9.2	8.4	12.1	10.0	11.4	9.8	11.8	11.1	
	一日あたりの 平均利用組数	4.1	3.7	5.6	4.5	5.0	4.4	5.6	5.0	
	10月	11月	12月	10～12月 合計	1月	2月	3月	1～3月 合計	4～3月 合計	
開催日数	21	19	20	60					175	
利用者数	227	266	277	770					1,980	
利用組数	109	129	133	371					917	
一日あたりの 平均利用者数	10.8	14.0	13.9	12.8					11.3	
一日あたりの 平均利用組数	5.2	6.8	6.7	6.2					5.2	

② 子育てに関するイベントや相談・講座の実施

誕生会（9回）

毎月1回誕生月の親子をうたとえほんの読み聞かせ・ハンドメイドの布製バースデイケーキでお祝い。会員限定でプレゼントの特典あり（施設で撮影し写真入りキーホルダーを作成）

ベビーマッサージ（5回）

講師：タッチケア&遊びの教室“陽だまり home”主宰 小松よしこ氏。約20分間の着衣のまま行うタッチケアと参加者交流の遊び。

公園であそぼう（5回）

向かいの釜利谷第5公園で、シャボン玉や水鉄砲を用意し、スタッフが一緒に見守り。
※金沢区健やか子育て連絡会主催の外遊び促進スタンプラリー企画。

えほん読み聞かせ（6回）

講師：中島真紀氏。20分間の季節の絵本よみかきと手遊びの時間。
12月の開催は金沢図書館の講師に出張していただいた。

季節の飾り工作（2回）

季節にちなんだ施設内の飾りづくりの時間。
工作の材料を事前に用意し親子で製作。完成した作品は、施設内の飾りに使うほか希望者は持ち帰り。

	講座・イベント名	開催回数	参加組数
定期開催	お誕生会	9回	10組
	ベビマ	5回	15組
	公園であそぼう	5回	53組
	えほん	6回	13組
	季節の飾りづくり	2回	13組
障害支援	クレヨン	9回	18組
ママ講師	こいちゃん相談日	5回	15組
	歯の相談日	5回	12組
地域交流	無料開放	9回	39組
	つながりたいむ	6回	8組
	土曜開催	2回	7組
行政連携	子サポ説明会	1回	0組
	保育コンシェルジュ	4回	14組
	働き方講座	0回	0組
	きょうだい児の会	1回	6組
	子育てパートナー	1回	4組
	年間合計		227組

● 障害支援

クレヨンの会（9回 18組）

発達に気がかりのある親子のための会。当事者スタッフと子どもの発達に気がかりがある親子の、遊びと語り合い・情報交換の場の提供。

（★安全面への配慮等から、ままでのわでの開催は2019年12月末まで）

● ママ講師

助産師こいちゃん相談日 講師：助産師 関洋子氏
産後の身体や赤ちゃんの体調などの相談の場。今年度から電話相談を同時受付。

歯の相談日 講師：歯科衛生士 五嶋由香氏
赤ちゃんの歯磨きや虫歯について、食事との関係や予防歯科を重視した相談・アドバイスの場。
希望者には個別相談を実施。

● 地域交流

無料開放

気軽に足を運んでもらえるよう原則月 1 回開催。

つながりたいむ★

16 時半まで開館時間を延長し地域の方々にもご利用いただけるよう広報。冬季除く。

土曜開催★

有職などで平日来づらい方のための土曜開催。 (★2019 年度 9 月より休止中)

● 行政連携

子育てサポート説明会 地域子育て支援拠点とことこ内の子育てサポート事務局スタッフによる、横浜市子育てサポートシステムの説明会及び申し込み資料の配付

保育コンシェルジュ 区所属の保育・教育コンシェルジュ（専任相談員）による、最新の保育園・幼稚園情報の提供と預け先に関する出張相談会。

きょうだい児の会 きょうだい児育児にまつわる悩みや気がかりの語り合いの場の提供。金沢区
区役所子育て支援課・地域子育て支援拠点とことこ・区内親と子のつどいの
広場共同企画。

子育てパートナー相談 とことこ所属の横浜子育てパートナーによる、子育て世帯の悩みや困りごとの
相談会。ていねいな聞き取りと各種専門施設や行政サービスの情報提供。

● **季節のイベント 6回 39組**

季節にちなんだ部屋飾りの工作活動。キットの状態に用意し、スタッフ見守りのもと親子で製作。すべて事前予約不要。

季節のイベント	こいのぼり	7
	母の日	4
	父の日	8
	七夕	3
	敬老	7
	ハロウィン	10
親子イベント	親子たいそう	9
	消防署見学	16
	クリスマス会	19
	縁日	10

● **親子イベント 4回 54組**

● 親子イベント…4回 延べ 54組

広い会場を借りたり外部講師をお招きして、親子同士の交流と、音や動きのある遊びを取り入れた企画など幅広く用意した。

- ・ 縁日…赤井町内会の祭礼の日に合わせて、事業所内を養生して、空気砲を使った的当てやアヒルのおもちゃすくいなどを用意。
- ・ 消防署見学…金沢消防署のご協力で、AED 講習会や消防車との記念撮影。
- ・ 親子たいそう…講師：健康運動実践指導者 荻田麻理氏。
親子でできるうたに合わせた体操、簡単なヨガの動きやストレッチのレクチャーと親子交流。
- ・ クリスマス会…講師：株式会社シンフォニー代表取締役 わくわくリトミック with フルート主宰 加藤佳菜氏、キッズリトミック認定講師 宮本聖美氏。ピアノの生演奏でからだを動かす親子リトミックと、ピアノ・フルートのクリスマスソング生演奏、サンタのお面の製作。

③ **地域子育て関連情報の提供**

- ・ 区内外の親と子のつどいの広場をはじめとした、親子の居場所のチラシ・パンフレット配架
- ・ 区内外の子育てイベント情報を、当月・来月以降に分けて掲示
- ・ 開催カレンダー“ままのわニュース”（おすすめイベントや開催予定に関する情報紙）を隔月発行。区内約 30 箇所に配架依頼。
- ・ インスタグラムを中心に、日々の様子やおすすめイベント情報・イベント時の様子を SNS で発信。

主事業である横浜市補助事業 親と子のつどいの広場 ままのわは、2019年4月～12月の運営期間中、延べ1,980名・917組の親子にご利用いただいた。年間を通じて、子育て世帯にとっての“子どもと歩いて行ける日常の居場所提供”を軸に活動を行った。あわせて、一時預かりへのニーズにこたえる形で、ままとのわ内での子どもの見守りを子育てサポートシステムスタッフに依頼し仕事や自分・きょうだい児の用事の時間捻出に活用する利用者がみられた。これは、子育てサポートシステム事務局（金沢区地域子育て支援拠点とことこ内）のご協力により、子育てサポートシステムの出張説明会による効果もあり、説明会に気軽に参加できてありがたいとの声があった。

イベントについては、参加数をもっとも多かったのは“公園で遊ぼう”、ついで“季節の飾りづくり”、“工作イベント”だった。工作イベントでは「久しぶりに手作業に集中できる時間がもてた」という喜びの声が聞かれ、事前準備するスタッフにとっても励みになった。

会場を借りて行ったイベントでは、会員とビジター関わらず参加者全体で楽しい時間を共有できるよう、見守りスタッフの人数を手厚く設定し配置や声掛けを工夫した。

開設から4年目を迎え、今年度は“子育て中のお母さんのためのコミュニティ”としての機能を強化すべく、ままとのわの利用や会員登録を通じて、保護者の孤独感を和らげ安心感へとつなげ、スタッフに悩みや愚痴を安心して吐き出せる場づくりを意識した取り組みを行った。具体的には、初回利用者には安心感を持ってもらえるよう案内や声掛けを工夫し、広報誌の情報を見直し、イベント参加費の改定により会員登録の魅力アップ等を図った。

市の補助事業である以上、地域の出生数低下の影響を踏まえても利用者数が年々減少傾向にあることに着目し、新規利用者への働きかけと同時に妊娠中からの新規見込み利用者への周知徹底が今後の課題となった。

歩いて行ける親子の居場所として、親子の思い出作りや日々の遊びの充実にプラスして、お母さんからの相談支援にも力を入れた。今年度は、個別相談に対して必要に応じてスタッフ間での情報共有を行い、地域保健師の個別相談へとつなぐケースもあった。これらの今年度の取り組みとその成果は、現施設長を中心にスタッフ・ボランティアスタッフ全体がチームとして整ってきたことによる効果と考える。今後は、このチーム体制を活かした発展的な活動に期待したい。

本事業は、NPO法人としての組織体制の維持の困難と、再度の理事長交代のリスク発生を機に、安定した運営を最優先に考え、現施設長が代表を務める当法人の内部委員会“親と子のつどいの広場ままとのわ運営委員会”が、当法人から独立する形で本事業の運営譲渡を行った。よって、2019年2月末をもって、当法人としての親と子の集いの広場ままとのわの運営は終了となった。2016年2月開設から約3年10か月間、延べ10,600名・4893組の親子にご利用いただいた。当事業の前身である「横浜市商店街空き店舗チャレンジショップ事業 つながりマーケットままとのわ」を含めると、延べ12,684名・5875組と、身近な親子の居場所としてたくさんの親子に足を運んでいただいた。

今後は、これまでの実績と経験を活かし、まちのなかで過ごす子育て世代と高齢者をつなぐ活動を検討していきたい。